

令和6年度 道の駅国見あつかしの郷（KPI）（案）

1. 道の駅国見あつかしの郷 重要業績評価指標（KPI）

【道の駅の目的】

道路利用者への安全で快適な道路交通環境・情報の提供地域の振興や安全の確保に寄与

【道の駅の基本コンセプト（国交省）】

- （１）休 憩 機 能・・・ 24 時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの提供
- （２）情報発信機能・・・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などの提供

【道の駅国見あつかしの郷独自コンセプト】

- （３）地場特産品等の販売等による地域産業の振興機能・・・町内生産者の農作物等の販売、飲食部門での利用等
- （４）地域の防災拠点機能・・・物資受入提供、防災倉庫、避難者休憩、物資仕分、炊出し等

（１）休憩機能の充実

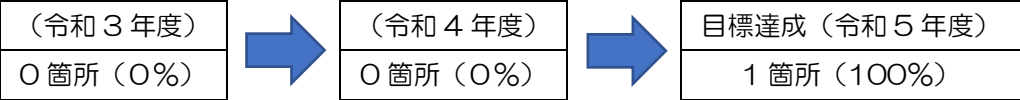
快適な休憩のためのくつろぎの空間提供

（令和 3 年度）	（令和 4 年度）	目標達成（令和 5 年度）
0 箇所（0%）	0 箇所（0%）	1 箇所（100%）

内 容	道の駅の景観向上と分煙対策のため、開放系（囲いのみ）の屋外喫煙所を 1 箇所設置する。	
算定式	設置数（1 箇所）÷ 計画数（1 箇所）×100	
経 過	令和5年度 屋外喫煙所設置	

(2) 情報発信機能の充実

道路利用者や地域の方々のための情報発信



内 容	大きな町内案内地図を設置する。
算定式	設置数(1箇所)÷計画数(1箇所)×100
経 過	デジタルサイネージに町内案内地図を表示し情報を発信。

(3) 地域産業の振興

①町内生産者等による対面販売

(令和3年度)	→	(令和4年度)	→	(令和5年度)	→	(令和6年度)	→	(令和7年度)	→	目標(令和8年度)
0回(0%)		5回(83%)		18回(300%)		14回(233%)		回(%)		年6回(100%)

内 容	くにみ市場での町内生産者等の対面販売の取組回数					
算定式	実施回数 ÷ 目標回数(年6回) × 100					
経 過	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	きらきら収穫隊 1回		きらきら収穫隊 2回		きらきら収穫隊 2回	
	農友会 1回		農友会 4回		農友会 4回	
	かあちゃんズ 1回		かあちゃんズ 1回		米づくり研究会 1回	
	くにみマルシェ 2回		野菜づくり研究会 1回		くにみ朝市 7回	
			米づくり研究会 1回			
	くにみ朝市 9回					
	合計 5回		合計 18回		合計 14回	

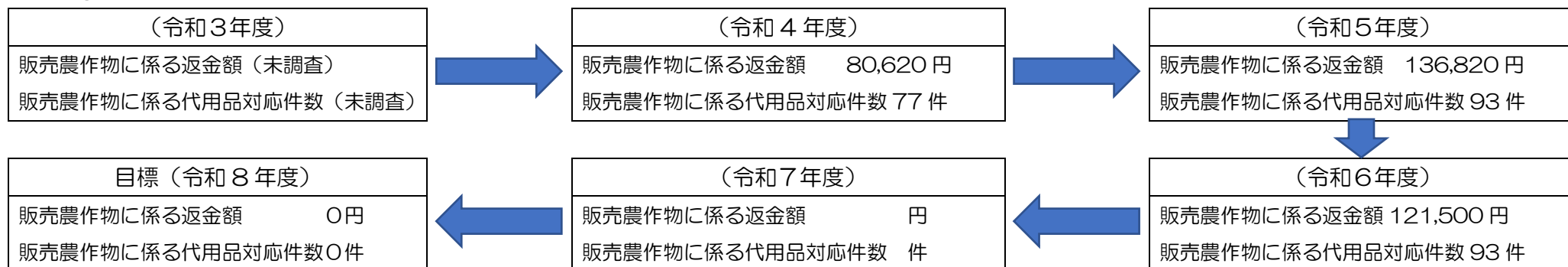


②施設利便性の向上

(令和3年度)	→	(令和4年度)	→	(令和5年度)	→	(令和6年度)	→	(令和7年度)	→	目標(令和8年度)
0%		76.6%		68.4%		74.8%		%		80%

内 容	来店客アンケートでの高評価の回答割合					
算定式	高評価の回答数 ÷ 全アンケート数 × 100					
経 過	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	満 足 212件(49.5%)		満 足 54件(55.1%)		満 足 47件(49.5%)	
	やや満足 116件(27.1%)		やや満足 13件(13.3%)		やや満足 24件(25.3%)	
	計 328件(76.6%)		計 67件(68.4%)		計 71件(74.8%)	
	全アンケート数428件		全アンケート数98件		全アンケート数95件	

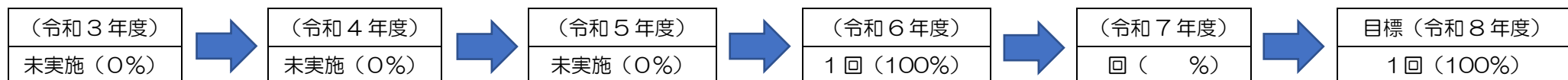
③販売農作物の品質の向上



内 容	販売農作物に係る返金・代用品対応を減らす。					
算定式	販売農作物に係る返金額を 0 円にする。 販売農作物に係る代用品対応件数を 0 件にする。					
経 過	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	野菜果実	43 件 22,200 円	野菜果実	40 件 34,320 円	野菜果実	38 件 17,100 円
	桃	25 件 50,500 円	桃	43 件 94,400 円	桃	45 件 95,500 円
	加工品	25 件 50,500 円	加工品	8 件 6,900 円	加工品	8 件 6,400 円
	工芸粗品	3 件 4,380 円	工芸粗品	3 件 1,200 円	工芸粗品	2 件 2,500 円
	合 計	77 件 80,620 円	合 計	93 件 136,820 円	合 計	93 件 121,500 円

(4) 地域の防災拠点

宿泊者が安心して泊れるような災害時等対応体制の整備



内 容	道の駅 BCP(事業継続計画)に基づく定期訓練を行う。
算定式	訓練実施数 ÷ 目標回数(年 1 回) × 100
経 過	令和5年度に簡易版 BCP(事業継続計画)を策定し、令和6年度に正規版 BCP(事業継続計画)を策定(R7.1 国土交通省へ提出)。 R7.1.14 の消防訓練に合わせ AED 講習等を実施。

令和6年度 こども木育広場つながる〜む（KPI）（案）

2. こども木育広場つながる〜む 重要業績評価指標（KPI）

【こども木育広場つながる〜むの目的】

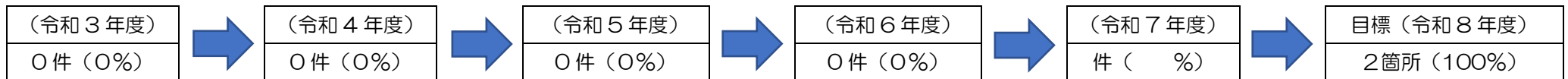
子どもたちが安心して遊べる安全な場所を確保する

【こども木育広場つながる〜むの基本コンセプト】

（１）地域連携機能・・・子育て支援の充実を図る交流施設等の提供

（１）地域連携機能の充実

子育て支援の充実を図る交流施設機能の充実



内 容	木育広場、原っぱ広場（屋外遊具）などでの魅力的な遊具の充実
算定式	実施箇所数（2箇所）÷ 計画箇所数（2箇所）×100
経 過	令和6年度 魅力的な遊具の導入には至りませんでした。待望の『ポケふた』を原っぱ広場付近へ設置することができた。 毎日、多くのポケモンファンの方々が、道の駅を訪れ写真撮影を行っております。 【ポケふたとは】 株式会社ポケモンが展開する『ポケットモンスター』のキャラクターであるポケモンの絵をデザインしたマンホールの蓋で、全国に370枚以上が設置されており、福島県では34自治体に設置されています。  

令和6年度 国見町農産物加工施設 momo・co (KPI) (案)

3. 国見町農産物加工施設 momo・co 重要業績評価指標 (KPI)

【農産物加工施設の目的】

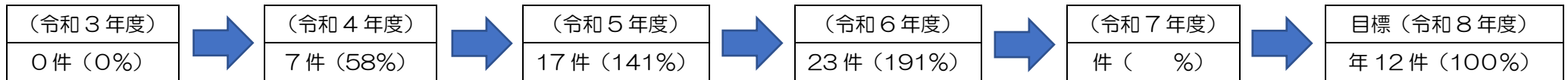
農産物加工の技術向上と人材育成を図り、農業の6次産業化を推進する。

【農産物加工施設の基本コンセプト】

(1) 農産物加工に関する技術の普及指導 (2) 農産物加工に関する人材育成

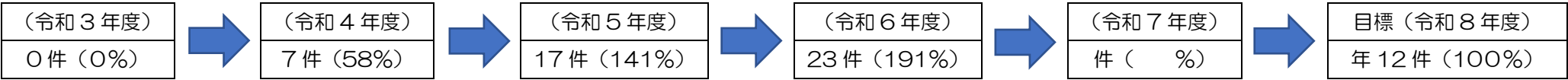
(1) 農産物加工に関する技術の普及指導

試作加工品の製造利用件数



内 容	施設を利用して農産物の加工・製造を行う。
算定式	農産物の加工・製造を目的とした利用件数 ÷ 目標利用件数 (年12件) × 100
経 過	令和4年度 試作品開発として7回貸出 【内訳】 あんぽ柿スイーツ試作3回 安納芋のチーズケーキ試作4回 ※地域の農業生産者との結びつきや地域への普及効果について「あんぽ柿」や「サツマイモ」が6次化産業として取組めるかの実証試験も兼ねた試作品開発となった。 令和5年度 一次加工として17回貸出 【内訳】 さくらんぼの一次加工6回 あんずの一次加工11回 ※伊達市の就労継続支援事業所、入所者の自立支援の為、農産物の一次加工を通じて社会復帰に貢献。次のステップとして6次化に向けた試作案に繋がる貸出しとなった。 令和6年度 一次加工として23回貸出 (6月8日～7月14日) 【内訳】 さくらんぼの一次加工2回 あんずの一次加工21回 ※国見町のあんずをアクア農園で収穫し、momo・coで一次加工を行い、アクア農園の自社加工所にて二次加工・製品化している。

(2) 農産物加工に関する人材育成
生産者の交流連携のための利用件数



内 容	施設を利用して生産者同士が交流連携する。
算定式	交流連携を目的とした利用件数 ÷ 目標利用件数（年 12 件）× 100
その他	令和 4 年度 試作品開発として 7 回貸出 ※今回の試作品開発は、国見町で農業を営む若手就農者等が参加した取組みがあった事で、次年度へ繋がる交流連携となった。 令和 5 年度 一次加工として 17 回貸出。 ※国見産の「あんず」を利用し、当施設の機械でどこまでの加工工程が可能なのか考察しながら試作を行った。 また、見学説明会では 5 組の生産者・加工業者などが意見交換する良い場となったため、引き続き交流連携を行っていく。 令和 6 年度 一次加工として 23 回貸出（6 月 8 日～7 月 14 日） ※昨年の実績を踏まえ、農福連携として伊達市の就労継続支援事業所と精神障がい者の施設外就労の取組みを実施。 入所者の自立支援の為、農産物の一次加工を通じて社会復帰に貢献。